

| | |
|-----|--------------|
| 試験名 | 短大・高校卒程度(林業) |
| 区分 | 専門試験 |

〔例題1〕 樹木の成長に関する記述として最も妥当なものはどれか。

1. 本数密度の違いは樹高成長に大きく影響を与え、本数密度が高いほど樹高は高い。
2. 本数密度が低いほど幹は細く、本数密度が高いほど幹は太い。
3. 本数密度が高いほど幹の形がうらごけになる。
4. 本数密度が高いほど単位面積当たりの幹材積は少なくなるが、林冠が十分に閉鎖すると、本数密度による差はほとんどなくなる。
5. 材積成長において、一定面積の土地で森林が生産できる総量は、太陽エネルギーと土壌条件で定まり、樹種や立木本数密度の影響は少ない。